### **水産加工業におけるカスタムAI共同開発プロジェクト 事業計画**

#### **1. 事業目的**

水産加工業における多岐にわたる業務課題（例：問い合わせ対応、日報作成、検品記録、受発注業務など）に対し、**生成AIを活用した業務改善ツール（カスタムAI）を共同で開発し、実装すること**を目的とします。具体的には、業界内の生成AIリテラシー向上と共通課題の言語化を進め、最終的に具体的なプロダクト開発へと繋げます。

#### **2. 事業構成（2フェーズ）**

本事業は以下の2つのフェーズで構成されます。

**◉ フェーズ①：要件整理・共通課題の抽出**

このフェーズでは、以下の活動を通じて、各社の生成AIリテラシーを向上させ、共通および個別の業務課題を明確化します。

* **勉強会の定期開催（1～2回／月）**
  + 各社の生成AIリテラシー向上を目的とした座学およびワークショップを実施します。
  + 生成AIの具体的な機能や活用事例を提示し、「自社の業務でどう使えるか」を参加者が検討する機会を提供します。
  + すでに2025年5月には白巻、女川、気仙沼地域で20社以上が参加した勉強会を実施済みです。
* **オンラインサポート体制の構築（LINE想定）**
  + 専門家から日常的に「活用ティップス」を共有する仕組みを構築します。
  + 各社からの質問を随時受け付け、学びとナレッジを蓄積します。
  + 勉強会の“間”を補完し、インプットと理解の速度を加速させます。
* **各社ヒアリングによる個別課題の抽出**
  + 専門家が各社の現場業務の詳細ヒアリングを実施します（訪問含む）。
  + 「AIで解決可能な構造的課題」を明確化し、勉強会でも共有します。
  + これらを地域業界全体のナレッジとして蓄積・展開します。

**◉ フェーズ②：カスタムAIの開発・実装**

フェーズ①で抽出された共通課題に基づき、具体的なカスタムAIツールの開発と導入を行います。

* 要件整理で抽出された共通課題をもとに、**複数社が共用できるAIツールを企画・設計**します。
* ChatGPT GPTsやAPIなどを活用し、**生成AIプロダクト（業務改善アプリ等）を開発**します。
* 開発したツールの**実装・運用を各社で行い、フィードバックを通じて改善サイクルを構築**します。

#### **3. 成果物／アウトカム（予定）**

本事業の実施により、以下の成果とアウトカムが期待されます。

* **各社の生成AIリテラシー向上**
* **共通および個別の業務課題の明確化・ドキュメント化**
* **業界で共有可能な生成AI活用ナレッジの蓄積**
* **カスタムAIプロダクトの複数開発**（例：問い合わせ自動仕分け、帳票作成補助AI等）

#### **4. 想定されるアウトプット例（カスタムAIプロダクトの具体例）**

開発されるカスタムAIプロダクトの具体例は以下の通りです。

* **製造・加工業務支援**
  + 受発注業務を支援する画像認識・情報整理AI
  + 製造現場の日報・帳票の自動作成を支援する文書生成AI
* **経営・事務業務支援**
  + 経営者のための議事録自動生成AI
  + 営業文書・補助金申請書類作成を支援するAI
  + 事業計画や報告資料の構成整理・文章構築を補助するカスタムAI
* **汎用的業務支援**
  + 社内ナレッジの蓄積・活用を促進するQA型ナレッジ整理AI
  + 各社の細かな日常業務を支援するタスク分担型AI（例：問合せ仕分け、社内文書の分類・転送など）

#### **5. 本事業の意義**

本事業は、地域水産加工業にとって以下の点で重要な意義を持ちます。

* **地域水産加工業におけるDX・AI導入の先進モデル創出**
* **人手不足解消・業務効率化・生産性向上**
* **地域業界全体での知見・ツールの水平展開**
* **「生成AI×水産業」という新しい文脈の全国的波及**